



多肉植物とは、厚い葉、太い茎、肥大した根などの多肉質の組織を持つことで水分を蓄積し、雨の降らない環境に耐えられるようになった植物の総称です。サボテン、アロエ、カランコエなどがよく知られています。世界中の乾燥地帯に生育し、キク科、ユリ科に属する植物をはじめ50以上の科で数千種類の植

始めよう+ガーデニング

多肉植物で癒しの空間を

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん
 協力：ガーデニングショップ金久
 大阪府泉佐野市日根野2545
 ☎0724-67-2413
<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>

ここ数年、奇抜な形の葉や茎を持つ多肉植物がブームです。植物というよりオブジェみたいで、洋室やオフィスによく合います。乾燥に強く育てやすいのも魅力です。

←フォルムの面白さを生かした寄せ植え

水をやりに過ぎるより、ほったらかしの方がうまく育つ場合もあるので、初心者にもお勧めです。マンションやオフィスの窓辺にそつと置くと、きつと癒しを与えてくれますよ。

- ・休眠期は水やりを控える
- ・葉が軟らかくなったり、色が透明になったりしたら凍傷や枯れ始めの兆候。水を控えて少し暖かめの直射日光の当たる場所に置く
- ・雨が直接かからない日当たりの良い窓際などに置く

上手に育てるには

- ・川砂、軽石、日向土、鹿沼土などの通気性と水はけの良い粒状土を主体に、腐葉土やバークキュライトを1割ほど混ぜて使う
- ・雨が直接かからない日当たりの良い窓際などに置く
- ・雨、湿気、日陰に弱い
- ・日差しが強いところを好む
- ・根がなくなってもすぐに枯れず、挿し芽などで簡単に再生できる
- ・生育期と休眠期がはっきりしているものが多い(生育期は丈が伸びたり、花が咲いたりする)

知っておきたい性質は

物があるといわれています。最近、出回っているのは国内にも自生するベンケイソウやマンネングサの仲間。寒さに比較的強い温帯育ちの種類です。多肉植物は厳しい環境に耐えることから、屋上緑化の植栽材料としても注目されています。

寄せ植え・ハンギングタブロー

多肉植物は根が狭い場所でも良く育つため、浅い鉢やカゴ、ハンギングタブロー(タペストリー)に挿して育てることができます。お気に入りの鉢が割れた時にカケラを使ってもOK。色々な種類を組み合わせ楽しんでください。



1 カゴや小さな鉢に寄せ植えしても面白い
 2 手前左から時計回りにアロエ、カランコエ・ロンボピロサ、カランコエ、オプツェア
 3 額絵のようなハンギングタブロー